

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書の訂正報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年4月5日

【会社名】 アスクル株式会社

【英訳名】 ASKUL Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩田 彰一郎

【本店の所在の場所】 東京都江東区豊洲三丁目2番3号

【電話番号】 03(4330)5130

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 玉井 継尋

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区豊洲三丁目2番3号

【電話番号】 03(4330)5130

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 玉井 継尋

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、平成29年3月7日付で、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第5号の規定に基づき、重要な災害に関する臨時報告書を提出いたしましたが、平成29年4月5日に提出した当社第54期第3四半期報告書において火災損失を計上したこと等から、金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、当該臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正内容】

訂正箇所は____を付して表示しております。

(4) 当該重要な災害による被害が当該提出会社の事業に及ぼす影響

(訂正前)

現時点において、上記資産の損失額、保険金受取額に加え、近隣住民の方の安心、安全を確保するための調査費用等、品揃え・配送サービスでお客様にご迷惑をおかけしていることによる売上高・利益への影響、サービスレベル回復のために一時的に掛かる物流費用等が確定できておらず、今後の業績への影響を見積もることは困難であります。

(訂正後)

「ASKUL Logi PARK 首都圏」は、B to C事業の「LOHACO (ロハコ)」の東日本エリアの出荷物流センターであったことから、「LOHACO」の出荷量は大幅に減少しております。B to B事業については、火災発生後に物流の混乱が生じたものの影響は限定的であります。火災事故の影響によりお客様にご迷惑、ご不便をお掛けしており、これを早期に解消するため、各物流センターの出荷対象エリアの見直しや24時間稼働等による既存物流センターの活用、「ASKUL Logi PARK 首都圏」の代替センターの賃借により「LOHACO」の出荷量最大化に努めてまいります。一日も早く、火災事故前の出荷能力を確保するとともに、さらなる成長を目指してまいります。本来の生産性まで回復するための期間については、追加の費用を見込んでおります。また、平成29年5月期第3四半期において、火災損失として101億45百万円を特別損失に計上しております。